

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



大槌高校のnoteでも
行事等の様子を
発信しています！

「大槌“で”学ぶ！」2年生マイプロジェクト

このページではこれまでに、町内出身の生徒や、県外留学生を中心に特集させていただきました。しかし、大槌高校には釜石市や山田町出身の生徒も多く在籍しています。今回は2年生のマイプロジェクトを取り上げ、大槌町をフィールドに自らの興味を深め、学び合う生徒たちの様子をお伝えします！

悩みを相談しやすい 社会をつくりたい

おりかさ ゆうあ
織笠 夕愛 さん

(山田町立山田中学校出身)



私は「地元だけでなく、他の地域の子とも関わってみたい」という思いで大槌高校に進学しました。私自身が中学生の時に悩みを抱え、周囲のサポートに救われた経験から、「悩みを抱えている人が相談しやすい環境づくり」をテーマに活動しています。大槌町の社会福祉協議会やスクールソーシャルワーカーの方へのヒアリング調査を通して、悩んでいる本人が「助けてほしい」と気軽に言える



ようになることが重要だと感じました。繊細で難しいテーマですが、将来の夢にもつながっているので、解決に向けてこれからも頑張りたいです。

海洋生物に優しい 環境をつくりたい

まえだ あおと
前田 碧斗 さん

(釜石市立甲子中学校出身)



中学生の時に、ウミガメの鼻にストローが刺さっているニュースを目にしたことがきっかけで、海洋生物や環境保護に興味を持つようになりました。高校入学後は「はま研究会」の活動を中心に、東京大学海洋研究所の先生方と一緒に研究を行っており、吉里吉里海岸の清掃や、集めた海ごみの分別作業に取り組んできました。現在は「プラスチックごみは本当に環境に悪いのか？」というテーマで、高校の化学室で自ら実験を行っています。化学の先生や、大学教授にサポートしてもらえる環境はとても有り難いです。



高校生と地域をつなぐ架け橋になりたい



えんどう みゆ
遠藤 望結 さん

(大槌学園出身)

私が大槌町に住み始めたのは震災後になりますが、祖母が赤浜地区に住んでおり、震災前から何度も遊びに来ていました。その度に、地域の方々が温かく接してくれたことが今でも心に残っています。そのような原体験から「地域のコミュニティづくり」をテーマにしました。これまでに、若者が自分のやりたいことについて語り合うイベントを開催したり、役場の協働地域づくり推進課、赤浜公民館、町内でコミュニティづくりの活動を行っている団体などを訪問させていただき、現状や課題を調査しました。今後は、地域活動に若者が参加するための「つなぎ役」に私自身なることで少しでも貢献できるように頑張りたいです。



生徒座談会

「大槌“で”学ぶことの良さとは？」

今回紹介した生徒3名が、「大槌町や大槌高校で学ぶことの良さ」について語り合う座談会を行いました。お互いに共感ポイントが見つかるなど、とても盛り上がりました。生徒の発言の一部を抜粋して紹介します。



左から
前田碧斗さん、織笠夕愛さん、
遠藤望結さん

(前) 僕は海に関するテーマで活動しているので、すぐに行ける距離に海があることや、海に詳しい大人がたくさんいることが良いと思います。地元にも海はありますが、探究を行う場所として、大槌はいい環境だと思います。

(織) 私は活動を進める中で、大槌には活動を応援してくれる温かい大人がたくさんいることを実感しました。訪問先の方が、また次の方を紹介してくれたり、ヒントになる情報を自ら提供してくれたり、たくさんの協力をいただいています。そうした応援にも応えたいです。

(遠) 高校に進学してから、自分たちが当たり前だと思っていたことが、当たり前ではなかったということに気づくことがたくさんありました。町外出身の生徒との関わりや、地域の大人との関わりを通して、自分の視野や価値観が広がっていくのがとても楽しいです。